

行政運営

行政経営品質活動について

松本 安夫
(黎明21)

問 行政経営品質活動は、理想の自治体像実現のため組織の目的や価値観を明確に示し、組織のあるべき姿と現状のギャップを認識するセルフアセスメントを実行するものとしているが本市はどうか。

答 本市では経営管理の手法として、職員自らの気づきを促すことに主眼を置いた人事考課制度を実施している。

問 人事考課制度を実施とのことだが、それで十分満足しているのか。

答 万能とは考えていないが、実施することにより職員の気づきややる気を喚起するという意味では有効と考えている。

問 この制度も導入から10年が経つ。現状が最良と考えているのは改善が遅れるので困るが、改善の停滞はないか。

答 職員提案制度の導入や職員一人一人が業務改善を意識するような体制づくりをしている。

●可視化について

問 内部統制の整備・運用における業務の可視化についての取り組みは。

答 市民サービス向上のため、各課にCS向上推進者を配置。業務マニュアルを作成し、担当者不在・引継ぎ時に活用。

問 内部統制とは業務が適正かつ効率的に、また組織内で不正・違法行為の発生を防ぐための規則・基準を定めるものだが、先のCS向上活動で全て補完できるのか。

答 組織の効率化を図り市民満足度の向上を図ることで達成可能である。

●道路行政

問 道路の寿命が尽き、網目状のひび割れが目につくが、整備方針は。

答 生活道路については要望を客観的に評価する事業評価に基づき実施。

安心安全のまち

市民を交通事故から守る
取り組みについて

加藤 誠一
(黎明21)

問 埼玉県は交通事故死者数全国ワースト1位。本市も昨年死亡事故が続発するなど憂慮すべき事態だが、交通事故防止への取り組みは。

答 交通安全運動期間中の街頭活動や交通安全教室等による啓発に努めるとともに、必要に応じてカーブミラーや道路照明灯等の整備を実施。また、昨年、県の特別対策地域に指定された際にはチラシの全戸配布や防災無線での呼びかけ等を行った。

問 道路の穴や丁字路の隅切りのわだち、外側線や路面表示の摩耗など、郊外の市道には自転車や歩行者にとって危険な箇所がある。補修等が必要と考えるが本市の対応は。

答 市民の問い合わせがあれば、できる限り迅速に対応したい。

問 自転車事故の死者の6割が頭部損傷によると

され、利用者保護のためヘルメット着用が重要だが、中学生以下の子どもへの着用は進んでいるか。

答 平成28年度から中学校で登下校時の他、学校行事、部活の移動時着用を徹底。これにより事故時軽症で済んだ事案もあつた。また、2つの小学校で登下校時に着用しており、他校での取り組みを支援していく。

ごみ問題

行田鴻巣北本3市ごみ広域化
建設候補地1カ所削除の改ざん問題

斉藤 博美
(日本共産党)

問 建設候補地選定は点数化し52カ所から鴻巣安養寺地区に決定。私は他の候補地との比較がほとんどなく安養寺ありきではないかと指摘してきた。案の定、組合が53カ所あつた候補地のうち最有力候補地と思われる1カ所を削除したことが判明。公文書を書き換えたことは反省で済まされる問題ではない。削除した理由は何か。

答 候補地決定後の事業進捗を円滑に図るため、候補地の削除などを行ったと聞いている。

問 内緒で削除したことは許される問題ではない。安養寺は洪水対策など多額の費用がかかり、経済性に関しても安いとは思えない。決まってからコスト概算が出るということでは、どんなにお金がかかっても評価には反映されるはずがない。さら

に鴻巣市は今まで無償で貸していた安養寺の隣のカントリーエシレーターの土地を、なぜか評価額の2.6倍の金額で農協に売却。近傍の売却額は用地取得費に影響するのではないか。

答 鑑定評価を鑑定士に依頼する際に近傍の価格は影響があると考える。

問 この売却によって安養寺は高い金額で買わなければいけなくなったわけだ。削除を行ったのは、組合の誰なのか。

答 事務局と聞いている。入手した資料では副市長参与会議で話し合っている。この出席者は現在どうなっているのか。

答 副市長は3人とも全て退職しているが、行政は継続性があり全て行政の責任と理解している。